

2017年4月31日

各地方連盟・自然保護委員長 御中

第20回 労山自然保護講座 夏季特別講座 の案内

「尾瀬でニホンジカとの共生を考える」

主催 = 日本勤労者山岳連盟・自然保護委員会

いま、尾瀬国立公園で重要な課題の一つは「ニホンジカから生態系をどう守るか」です。尾瀬では、1980年代後半にニホンジカ（以下、シカ）が目撃され、1990年代半ばに生息と食害が確認され、2000年代に入って日光利根地域からの渡りのシカが急増し、尾瀬一帯でミツガシワ、ニッコウキスゲなど多種類の食害、ヌタ場、シカ道など植生の攪乱が目立ってきました。環境省は、自治体など関係機関との協議で調査と排除を併行してすすめてきましたが、生息数の増加と植生の攪乱はつづきました。

2009年に決定した「尾瀬国立公園シカ管理方針」では、「尾瀬からシカを排除することを最終的な目標」として「捕獲を積極的に実施する」と取り組んできました。2015年までに年平均約190頭を捕獲してきましたが、生息数の増加と植生の攪乱はとまっています。2016年夏現在、尾瀬のシカの推定生息数は約1500頭、捕獲目標は、2023年までに半減です。その数約750頭。片品村戸倉のハンターたちは「かなりきびしいな」と話しています。

こうした尾瀬のシカの状況と対策について、講演で学び、実際に観察し、あわせて各地の経験を交流して認職を共有し、シカとの共生と、これからの登山者としての行動を考えることを目的に、この自然講座を開催いたします。

記

日程： 2017年8月19日(土)～20日(日)

場所： 尾瀬・山ノ鼻小屋、衛星電話 090-3345-1783（朝6時から夜7時30分）

集合： 8月19日(土) 12:00 鳩待峠 鳩待山荘前（参加受付）

講座参加費： 無料（現地までの交通費は参加者負担）

宿泊・交流会費： 9500円（一泊二食）： 労山優待のため、会員証持参のこと

交通費： 鳩待峠までの往復費用（参加者負担）

鉄道の上毛高原、沼田の各駅から、尾瀬戸倉、鳩待峠行バスがあります。

東京の主要ターミナルからは、尾瀬行直行バスがあります。

定員（25名）になり次第締め切らせてもらいます。

第一日（8/19） 集合：12：00 鳩待峠 鳩待山荘前（参加受付）

1）自然観察

1215-1350 移動：鳩待峠 山の鼻ビジターセンター 研究見本園一周
自然観察：ニホンジカの痕跡、植生保護、調査柵など

2）講演、質疑応答

1400-1530 講演：「尾瀬のニホンジカ」環境省自然保護官（予定）

1530-1545 休憩

1545-1700 意見交換

3）夕食・交流会（18：00～20：00）

第二日（8/20）

0800～1200 尾瀬ヶ原自然観察：山の鼻 牛首（往復）ニホンジカの痕跡、又
夕場、木道など。山の鼻 鳩待峠 解散

主催者連絡先

日本勤労者山岳連盟・自然保護委員会委員長 花村 哲也

〒162-0814 東京都新宿区新小川町5番24号

電話 03（3260）6331 Fax03（3235）4324

携帯 090-1186-5948、E-mail:thana@apricot.ocn.ne.jp

申込先

日本勤労者山岳連盟・自然保護委員会 林 祥介

携帯：080-2006-2073、Fax：03-3421-4782

E-mail：nd52123@ca2.so-net.ne.jp

以上

2017年 月 日

「第20回全国自然保護講座」申込書

都道府県連盟： _____

会（クラブ）名： _____

氏名	住所	電話	Email	備考

申込期日： 7月15日（土）迄に下記宛にメール又はFAXでお申し込みください。

申込先： 全国連盟 自然保護委員会 担当：林 祥介 080-2006-2073、 E-mail：nd52123@ca2.so-net.ne.jp、 Fax 03-3421-4782